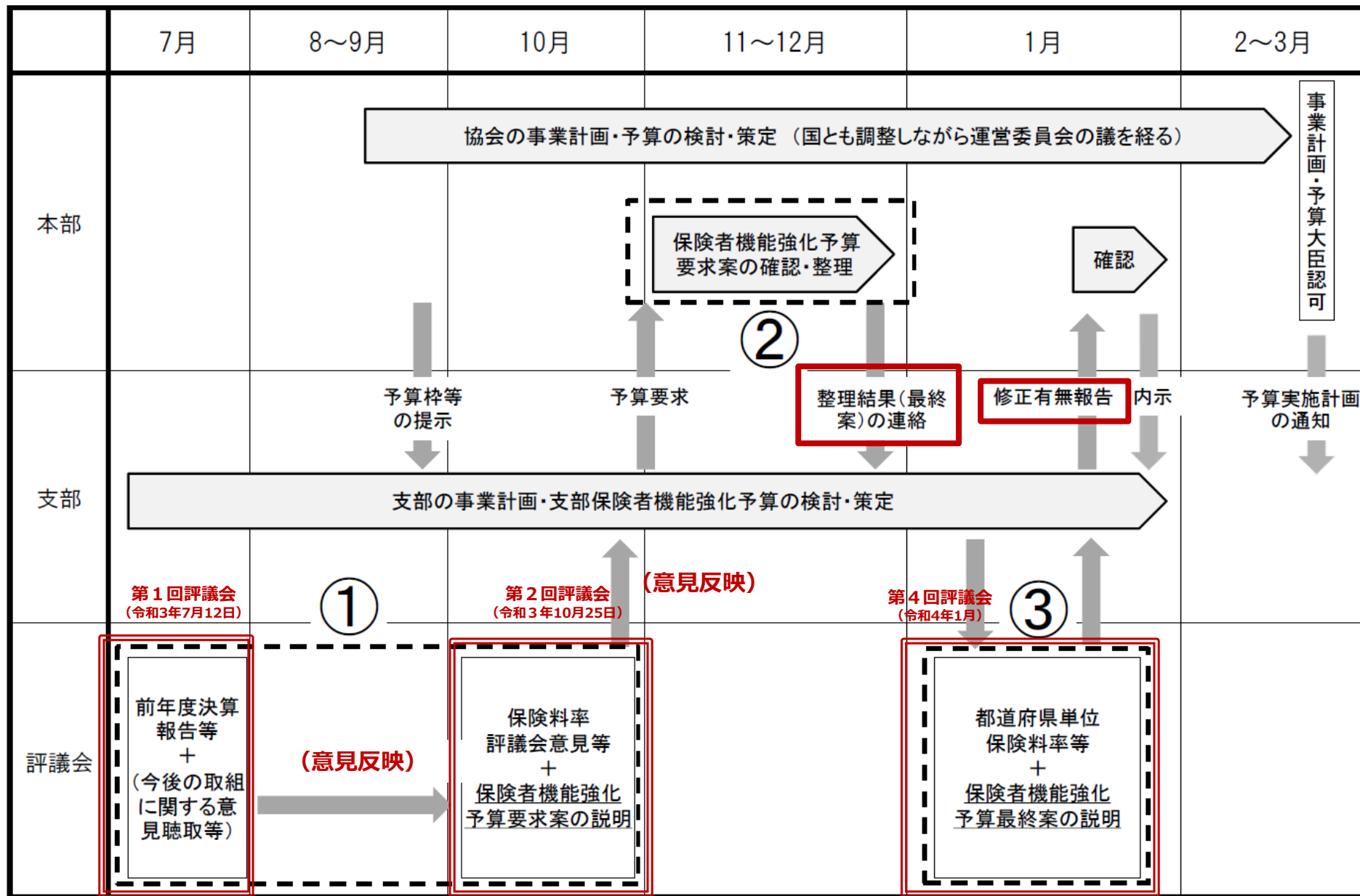


令和4年度 支部保険者機能強化予算 最終案について

ご審議・ご意見いただきたい事項

このたび本部への予算要求について整理結果が来ましたので、ご報告するとともに、令和4年度福島支部事業計画（資料2）と照らし合わせてご意見等をいただきたいと存じます。

令和4年度 支部保険者機能強化予算策定のスケジュール（イメージ）



令和4年度福島支部保険者機能強化予算

支部保険者機能強化予算の区分等

予算区分	分野	支部予算枠
1.支部医療費適正化等予算 〔医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取り組みを推進するために必要な予算〕	医療費適正化対策経費	15,006,000円
	広報・意見発信経費	
2.支部保健事業予算 〔受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取り組みを推進するために必要な予算〕	健診経費	69,574,000円
	保健指導経費	
	重症化予防事業経費	
	コラボヘルス事業経費	
	その他の経費	
合計		84,580,000円

1.支部医療費適正化予算

(千円)

分野	区分	事業名	支部要求案	本部整理結果	備考
医療費適正化対策経費	継続	① 謎解きを活用した「医療機関のかかり方」「インセンティブ制度」に関する啓発広報【事業概要1】	5,555	5,555	
	廃止	債権発生未然防止事業	0	0	
	計		5,555	5,555	
広報・意見発信経費	継続	② 紙媒体による広報 (定期的に全事業所、任意継続被保険者宛に送付するチラシ等印刷)	3,964	3,964	
	継続	③ 広報媒体を活用した福島支部事業の周知広報【事業概要2】	5,487	5,487	
	廃止	地方自治体と連携したセミナー、イベント等の開催	0	0	
計		9,451	9,451		
合計			15,006	15,006	

※端数処理により合計が合わない

2.支部保健事業予算①

(千円)

分野	区分	事業名	支部要求案	本部整理結果	備考
健診経費	継続	④ 健診実施機関実地指導旅費	140	140	
	継続	⑤ 事業者健診結果データの取得	11,477	11,477	
	継続	⑥ 集団健診	5,284	5,284	
	継続	⑦ 健診推進経費	4,085	4,085	
	継続	⑧ 健診受診勧奨等経費 【事業概要 4】	9,484	9,484	
	廃止	事業者健診HbA1c追加検査費	0	0	
計			30,470	30,470	
保健指導経費	継続	⑨ 中間評価時の血液検査費	3,960	3,960	
	継続	⑩ 医師謝金	154	154	
	継続	⑪ 保健指導用パンフレット作成等経費	670	670	
	継続	⑫ 保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	197	197	
	継続	⑬ 保健指導用図書購入費	50	50	
	継続	⑭ 公民館等における特定保健指導	60	60	
	継続	⑮ 保健指導推進経費	1,058	1,058	
	継続	⑯ 保健指導利用勧奨経費 【事業概要 5】	1,531	1,531	
計			7,680	7,680	

※端数処理により合計が合わない

2.支部保健事業予算②

(千円)

分野	区分	事業名	支部要求案	本部整理結果	備考
重症化予防 事業経費	継続	⑰ 未治療者受診勧奨	119	119	
	継続	⑱ 糖尿病性腎症	220	220	
	新規	⑲ その他の重症化予防 【事業概要10】	533	533	
	計		872	872	
コラボヘルス 事業経費	継続	⑳ コラボヘルス事業 取組支援①（広報および認定・表彰） 【事業概要7】	6,162	6,162	
	継続	㉑ 取組支援②（健康意識の向上） 【事業概要8】	12,625	12,625	
	新規	㉒ 職域の健康意識醸成に向けたwebセミナーの開催 【事業概要9】	495	495	
	継続	㉓ 情報提供ツール（事業所カルテ等）	1,889	1,889	
計		21,171	21,171		
その他の経費	新規	㉔ LINE公式アカウントを活用した情報配信 【事業概要3】	1,480	1,480	
	新規	㉕ 相双地区加入者に向けたオーダーメイド通知書の送付 【事業概要6】	7,227	7,227	
	継続	㉖ 小学校における健康教室	528	528	
	廃止	疾病発症確率を用いた禁煙勧奨通知書の送付	0	0	
	継続	㉗ 保健事業計画アドバイザー経費	146	146	
計		9,381	9,381		
合計			69,574	69,574	

※端数処理により合計が合わない

主な事業の概要

1. インセンティブ制度のさらなる周知広報

No.	事業名	概要等	予算区分
1	謎解きを活用した「医療機関のかかり方」「インセンティブ制度」に関する啓発広報 5,555千円	<ul style="list-style-type: none"> 現在、「web媒体を活用した広報」事業を実施し、主に18歳未満の子どもをもつ親をターゲットとした、上手な医療機関へのかかり方に関するマンガ広報を行っている。 令和4年度はマンガに代わるものとして事業に関する謎解き（謎を解くことでシナリオを進める体験型コンテンツ）を掲載し、閲覧者（加入者）が事業理解を深める機会を設けることで行動変容につなげる。媒体は引き続きwebを活用する。 令和4年度は上手な医療機関へのかかり方に追加して、加入者の理解促進が急務であるインセンティブ制度についても行う。 	支部医療費適正化予算 →医療費適正化対策経費（P.3①）
2	広報媒体を活用した福島支部事業の周知広報 5,487千円	<ul style="list-style-type: none"> 福島支部では事業者健診データの取得率や被扶養者の特定保健指導実施率が低いため、「インセンティブ制度」の内容と併せて事業主、および加入者へ直接周知することで意識向上を図る。 広報媒体については新聞記事下広告、およびインセンティブ制度の周知が直接事業主に届くよう、商工会議所会報誌へのチラシ折込を活用する。（新聞記事下広告3回・商工会議所会報誌へのチラシ折込1回） 	支部医療費適正化予算 →広報・意見発信経費（P.3③）
3	LINE公式アカウントを活用した情報配信 1,480千円	<ul style="list-style-type: none"> 健診（指導）日程や健診（指導）会場の情報提供など、インセンティブ制度のなかでもとりわけ健診事業に関する情報を加入者へ直接提供することにより、加入者の健康に対する意識の向上、並びにそれに伴う生活習慣病予防健診や特定健康診査、特定保健指導の受診率向上を図る。 	支部保健事業予算 →その他の保健事業（P.5④）

主な事業の概要

2. 地区の課題に応じた効果的・効率的な事業

No.	事業名	概要等	予算区分
4	健診受診勧奨に係る取組 9,484千円	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防健診実施機関が充足していない県南・相双地区で福島支部主催のバス健診（集団健診）を実施する（16回）……………552千円 その他、健診パンフレット作成や、市町村の住民健診の日程に合わせた特定健診（被扶養者向け健診）の受診勧奨ダイレクトメールを実施する。 	支部保健事業予算 →健診経費（P.4⑧）
5	保健指導利用勧奨に係る取組 1,531千円	<ul style="list-style-type: none"> 健康課題の多い相双地区において集合型の特定保健指導を実施することで、相双地区の加入者の生活習慣改善および特定保健指導の実施率の向上をねらう。内容は運動指導士等による運動実践を中心としたものとし、対象者の運動習慣の獲得につなげる。（1回）……………675千円 その他、特定保健指導実施機関（健診機関）が特定保健指導を円滑に行えるよう、必要媒体を作成する。 	支部保健事業予算 →健診経費（P.4⑩）
6	相双地区加入者に向けたオーダーメイド通知書の送付 7,227千円	<ul style="list-style-type: none"> 健康課題が多く、東日本大震災後に健康度が悪化した相双地区において、健診データに基づくオーダーメイド型の通知を行うことで、対象者の行動変容（医療機関受診勧奨・生活習慣改善・特保受診勧奨）を促す。通知には対象者の疾病発症確率を記載するなど個別具体性の高い内容とする。（7,000名） 	支部保健事業予算 →その他の保健事業（P.5㉔）

主な事業の概要

3. 「健康事業所宣言（コラボヘルス事業）」の質の向上

No.	事業名	概要等	予算区分
7	取組支援① (広報および認定・表彰) 6,162千円	<ul style="list-style-type: none"> • 好事例の横展開による職場の健康づくりの推進を目的として、健康づくりに積極的な事業所の取り組み内容をまとめた「取組事例集」を作成する……………1,898千円 • 「健康事業所宣言」エントリー事業所に対して、福島支部の健康づくり事業の周知を目的とした季刊誌を発行する。季刊誌に併せて、福島県の健康課題（高血圧・高血糖など）に関する視認性の高い冊子を送付することで、職場における健康意識の向上をねらう（年4回）……………2,271千円 • その他、福島県の認定制度に向けたアンケート作成などを実施 	支部保健事業予算 →その他の保健事業 (P.5②)
8	取組支援② (健康意識の向上) 12,625千円	<ul style="list-style-type: none"> • 関係団体との連携、および民間業者の活用により、健康づくりに関する出前講座を実施し、「健康事業所宣言」事業の質の向上を図るとともに、日本健康会議「健康経営優良法人」認定に向けた事業所支援を行う。 コロナ禍における事業所の多様なニーズに対応するため、対面・オンラインそれぞれの講座を準備する。(全140回)……………7,785千円 • 事業所より「健康意識の向上に役立つ」と要望が根強い血管年齢測定器の貸出について、貸出件数を100件から200件へ拡大する……………4,840千円 	支部保健事業予算 →その他の保健事業 (P.5②)
9	職域の健康意識醸成に向けたwebセミナーの開催 495千円	<ul style="list-style-type: none"> • 事業所のニーズが多かったものの、既存の福島支部の事業（出前講座やDVD貸出）ではライセンスや二次使用の関係で実施できずいた「ラジオ体操に関する実技指導」について、ラジオ体操協会の講師を招いたwebセミナーを実施する。 セミナー内容は、ラジオ体操の実技指導のほか、福島県の健康経営優良法人認定制度の説明などを予定。……………495千円 	支部保健事業予算 →その他の保健事業 (P.5②)

主な事業の概要

その他新規事業

No.	事業名	概要等	予算区分
10	その他の重症化予防 533千円	<ul style="list-style-type: none">健康課題を踏まえた支部独自の詳しい情報提供書を作成し、生活習慣病予防健診受診者のうち血圧や血糖の検査数値が一定値以上の対象者に対し、健診機関において健診結果通知に同封してもらうことで早期受診に結び付ける。	支部保健事業予算 →重症化予防（P.5 ⑱）

＜参考＞ 保険者機能強化予算を検討する際の原則的な留意事項等

医療費適正化や健康づくりとは言い難い等、加入者の理解が得られない取組について、支部保険者機能強化予算としては認められない。

- イベント開催時における過度な配布品等の購入
- セミナー等における飲食物の提供（ケータリング等）
- 協会職員の管理指導体制が整わない中での外注業者への丸投げ
- 出演料等が高額となる有名タレントの起用
- 費用対効果を十分に説明できない広告
- 支部内の一般備品や職員が利用することを目的とした消耗品購入
- 過度なノベルティ、イベントグッズ
- ワクチン接種や医薬品類（ニコチンガム等）の配布およびスポーツクラブ利用時の一時補助等